

「第3回 医療事故・紛争対応人材養成講座」
(2008 年 7 月 19 日～10 月 13 日,於 : 愛知県常滑市)



1. 開催日時: 2008 年7 月19 日～10 月13 日
2. 開催場所: 愛知県常滑市
3. 講師陣(講義開催順) : 前田正一(東京大学)
原田賢治(東京大学医学部附属病院)
嶋崎明美(姫路医療センター)
江原一雅(神戸大学医学部附属病院)
池田典昭(九州大学)
児玉聡(東京大学)
前村聡(日本経済新聞社)
星康臣(JA北海道厚生連旭川厚生病院)
石川雅彦(国立保健医療科学院)
丸山英二(神戸大学)
日下隼人(武蔵野赤十字病院)
富永理子(呉医療センター)
厚生労働省
4. 参加人数: 84 名

以 上

	平成20年度 医療事故・紛争対応人材養成講座 時間割(予定)						
	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限	6時限	7時限
	9:30～10:30	10:30～11:30	11:30～12:30	13:10～14:10	14:10～15:10	15:10～16:10	16:10～17:10
第1回	リスクマネジメント総論			医療安全活動および医療安全教育			
	イントロダクション	医療安全管理制度・院内での安全管理	医療事故の法律問題および事故対応	院内での医療安全管理体制	院内教育の手法	医療安全と診療記録	診療記録の記載方式と院内教育
	(7/19) 前田正一(東京大学)			(7/19) 原田賢治(東京大学)		(7/19) 嶋崎明美(姫路医療センター)	
第2回	医療事故への初期対応(1)						
	現場の保存とその方法	院内検証(一次検証)とその方法	医療事故の警察への届出の判断	異状死の警察への届出の判断・方法	死因究明と剖検の意義	死亡診断書・死体検案書の意義	医療関連死とモデル事業
	(7/20) 江原一雅(神戸大学)		(7/20) 前田正一(東京大学)			(7/20) 池田典昭(九州大学)	
第3回	医療事故への初期対応(2)						
	患者・家族への情報開示(理論)	記者会見:その意義と方法	ポジションペーパーの意義と作成方式	記者会見実習①	記者会見実習②	医療事故の社会への公表と記者会見の講評	
	(7/21) 児玉聡(東京大学)	(7/21) 江原一雅(神戸大学)		(7/21) 新聞記者+実習アシスタント			
第4回	院内外における医療事故調査(医療事故の事例分析・評価・防止対策)						
	医療事故の諸機関への届け出と事故調査	エラー分析総論	根本原因分析(RCA)と方法①	RCA(根本原因分析)と方法②	RCAの実習①	RCAの実習②	RCAの実習③
	(10/11) 星康臣(旭川厚生病院)	(10/11) 石川雅彦(国立保健医療科学院)					
第5回	医療事故と倫理・法						
	インフォームド・コンセント(1) 総論および説明要件	インフォームド・コンセント(2) 同意能力・理解・同意の各要件	インフォームド・コンセント(3) 説明・同意文書とその作成方式	インフォームド・コンセント(4) 具体事例の検討	医療事故と法律・総論	過失の判断(注意義務の基準)	医療事故と診療情報の開示
	(10/12) 前田正一(東京大学)				(10/12) 丸山英二(神戸大学)		
第6回	コミュニケーション				医療安全政策	まとめ	
	患者の訴えを聴く	コミュニケーション技法(1)	コミュニケーション技法(2)	患者対応の実際(医療従事者対応を含む)	医療安全政策の過去・現在・未来	質疑応答・ディスカッション	
	(10/13) 日下隼人(武蔵野赤十字病院)			(10/13) 富永理子(HMO呉医療センター)	(10/13) 厚生労働省	(10/13) 前田正一(東京大学)	

* 講義の中では、時間割に記載がなくても、必要に応じて、演習・SGD(スモール・グループ・ディスカッション)が行われ、そこでは、理論と実践を架橋する解説がなされます。